

まちびらきまつり 準備着々と

野蒜復興新聞

9月3日(日)、野蒜ヶ丘まちびらきまつり第2回実行委員会(全体会)が開催され、これまでの総務、演技、出店の各部会の会議内容が共有されました。まつりの目玉であるみこしパレードは、各地区から合計5台のみこしの参加が予定されています。



野蒜まちづくり協議会 役員

8月24日(木)、野蒜まちづくり協議会役員会が開催されました。

まちびらきまつりのテーマが「笑顔・一心・ふらっとのびる」に決定したことが通知されました。

他、各部会の活動についての連絡があり、最後に「ひこぼえ座談会」が発足した旨の報告がありました。(詳細は左)

なお、役員会開催に先立ち、農産物栽培拠点「幸福の郷(さちみつるさと)KDDIエボルバ野蒜」設立の案内がありました。*詳細は次号掲載予定です。

また、パレードやおまつり全体を盛り上げる為の小旗の作成を、皆で協力して行っています。

ひとりひとりの力がまちを盛り上げます!

野蒜まちづくり協議会
 イメージキャラクター
 マックくん



人材育成交流会「ひこぼえ座談会」

かつてのPTA広報誌から名付けられました。『まちづくりに関心はあるけど意見を言う場がない』『参加しやすい集まりがあれば』...そんな意見から誕生しました。あなたの声をまちづくりに活かしてみませんか?ご興味のある方は事務局:野蒜市民センターまで(TEL 0225-88-2056)

“明るい子供達の声”

希望の野蒜ヶ丘へ

8月26日に鍵引渡しが行われた野蒜ヶ丘災害公営住宅。震災から6年半余り、避難所として仮設住宅と転居を余儀なくされた奥田登美子さん(二丁目在住・写真左)も、ようやく新しい生活がスタートした方のひとりです。今回、引っ越しを終えたばかりの新居の住み心地をお伺いしました。

「気に入っているのは、お勝手が対面式で、家族の顔が見えるところ。日当たりも良いです。玄関には靴を履く時に便利な収納式の椅子もあり、足腰の悪い人にも配慮されています」と、良い面を次々と紹介してくれました奥田さん。これまでの仮設住宅での暮らしの中でも、震災を契機に様々な地域の方々と交流するなど、前向きな取り組みを多数行ってこられました。



奥田さん宅 玄関

が返ってきました。「仮設の時は子供が何処に住んでいるか分からず、とても寂しかったですよ。広い仮設をぐるりと歩いて、ああ、子供の姿が見当たらないな、と思って...」

今は野蒜ヶ丘二丁目にお住いの奥田さん。近所には小学校や保育所もあり、子供達の元気な様子を間近に感じられるのが嬉しいのだそう。そして、「今はよく眠れます。仮設の時は、なかなか熟睡できませんでしたから、大の字になつて寝られることが本当に気持ち良いですよ。」と笑顔で語ってくれました。

また、今後の課題についても話は及びました。――仮設住宅に入っていた時は、沢山のことを『大目に見てもらえた』と思います。自治会も、まちづくりも、まだこれから。医療施設や交番なども今後建てられ、新しく引越してくる人も徐々に増えるでしょう。冬を迎えれば、家を閉め切つて過ごすことが増えます。孤独死のニュースは他人事とは思えません。インターホンを押したらすぐに人が出てきて、何でも話せるような近所付き合いが続けられれば――「だから本当の復興はこれからですよ。」そんな言葉が印象的でした。

野 蒜 北 部 丘 陵 振 興 協 議 会

臨 時 総 会 開 催

9月10日(日)、野蒜市民センターにおいて、野蒜北部丘陵振興協議会臨時総会が開催されました。8月19日に行われた地区自治会設立に向けた住民説明会を受け、議案が審議され、野蒜ヶ丘の地区自治会構成について決議されました。

当日は、117世帯123名の方に参加され、122名から委任状が提出されました。総会では、会長からの挨拶の後、事務局からこれまでの経緯の説明があり、地区自治会構成は、丁目ごとに自治会を構成する案に対して参加者の拍手多数にて承認を得られました。



△ 臨時総会の様子

自治会設立準備も大詰め

野蒜ヶ丘地区の自治会設立に向け、毎週協議が進められており、大詰めを迎えました。暮らしやすいまちを目指して、臨時総会の後から、丁目ごとに集まり、地区自治会の組織体制・規約・事業計画・収支予算・防災計画案について協議を行いました。

「市民協働のまちづくり」

東松島市では、地域に直接かかわる具体的な課題について、市民が主体的にまちづくりに取り組み、地域単位でまちづくりが可能となるような自立型のまちづくりを目指しています。この市民協働のまちづくりを進めるにあたって、生活地域単位で考えて行動するための地域自治組織の形成をおこなっています。住民一人一人が主役です。お互いに協力し合い、より暮らしやすいまちづくりを目指していきましょう。

野蒜想いのリレー

JICA 地域復興推進員

野蒜地区の復興を学びに、多くの JICA 研修員が各国から研修に来ております。海外の方々は、特に東松島市で行われている市民協働のまちづくりに興味を持たれる方も多く、住民の皆さんが、自分達でまちづくりをする姿に感心されています。これから新しい自治会を形成するに当たって、益々コミュニケーションの力が発揮されることと思います。野蒜北部丘陵協議会の場に同席させて頂いたと、皆さんの自分の住む街をよくしたいという思いが伝わってきます。これからも、未来を担う子供達や海外の方にも誇れるまちづくりとなるよう支援してまいります。

野蒜ヶ丘地区自治会設立総会

平成 29 年 9 月 30 日(土)

一丁目～三丁目の自治会設立総会が行われます。設立総会では、地区自治会の組織体制、規約、事業計画について各自治会で説明があります。

野蒜復興新聞は、次回で最終号を迎えます。次回は、自治会設立総会や野蒜ヶ丘まちびらきの様子をお伝えします。



▽ 震災復興伝承館見学やハーブ園を運営されている住民の方との交流会の様子

